

2026年7月10日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ホ ッ ト リ ン ク
代 表 者 名 代表取締役 檜 野 安 弘
(コード番号：3680 東証グロース)
問 合 せ 先 執行役員 CFO 福 島 淳 二
(TEL. 03-6261-6930)

企業とAIエージェントのためのデータ流通基盤 「Nonagon Link（ベータ版）」限定公開のお知らせ

～AIエージェントによるアクセスを、企業が保有するデータ・コンテンツの収益機会に転換～

株式会社ホットリンク（以下、当社）は、当社グループでAIエージェント決済領域及び暗号資産・ブロックチェーン領域を中心に投資・事業開発を行う合同会社Nonagon Capital（以下、Nonagon Capital）が、企業とAIエージェントのためのデータ流通基盤「Nonagon Link（ベータ版）」を2026年7月10日より国内限定で公開しましたので、お知らせいたします。

Nonagon Linkは、企業がAPI経由で提供するデータや課金コンテンツを、AIエージェントに有償提供できるデータ流通基盤です。AIエージェントがデータやコンテンツを利用するたびに、米ドル連動のステーブルコイン「USDC」で対価が支払われます。

本基盤は、SNS分析やAIに強みを持つ当社と、Web3領域に知見を有するNonagon Capitalが、それぞれの知見を持ち寄り共同開発したものです。

1. 開発の背景

生成AI及びAIエージェントの普及により、AIが自律的にデータ収集、分析、意思決定、実行を行う領域が拡大しています。AIエージェントは、業務支援ツールの枠を超え、人間に代わって調査や取引といった経済活動を担う存在になりつつあります。

AIエージェントが的確に役割を果たすためには、信頼できる高品質なデータへのアクセスが重要となります。一方で、企業が保有するデータやコンテンツが、AIエージェントに対価なく利用されるケースもあり、価値あるデータやコンテンツを保有していても、それが収益につながりにくい状況があります。

これらの課題を踏まえ、Nonagon Capitalは、企業が保有するデータやコンテンツと、それらを必要とするAIエージェントをつなぐ基盤として、Nonagon Linkを開発いたしました。

2. Nonagon Linkの概要

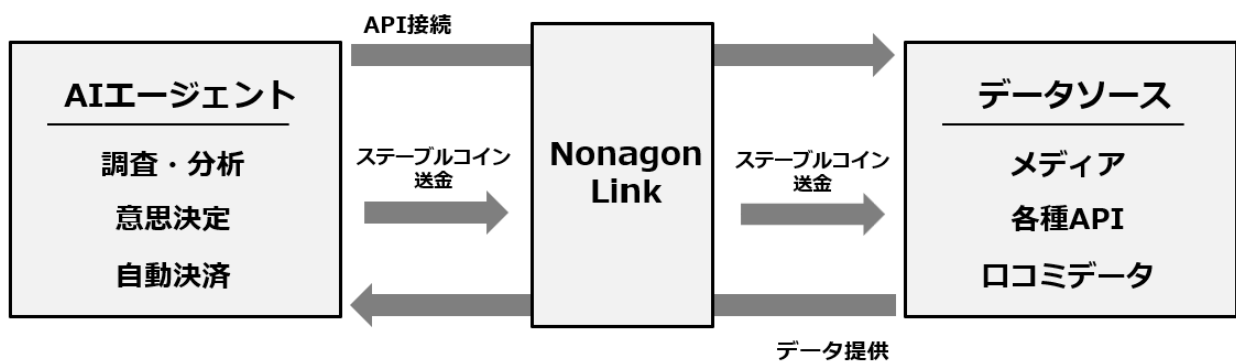
Nonagon Linkは、企業がAPI経由で提供するデータや課金コンテンツを、AIエージェントが利用できるようにするデータ流通基盤です。

企業は、自社のデータやコンテンツをAIエージェントが利用可能な形で提供することで、AIエージェントによる利用に応

じた収益機会を得ることができます。一方、AIEージェントを開発・運用する事業者は、Nonagon Linkを通じて、外部のデータやコンテンツにアクセスし、より高度な情報収集、分析、意思決定を行うことが可能となります。

対価の支払いには、Ethereum及びSolanaブロックチェーン上の米ドル連動ステーブルコイン「USDC」を用います。また、決済には、米Coinbase社が公開したオープンソースの決済規格「x402」を採用しており、少額決済やAIEージェントによる自律的な支払いに対応しやすい仕組みを目指しています。

本プラットフォームは、当社とNonagon Capitalの共同開発により提供するものです。当社が有するAI・データ分析領域の知見と、Nonagon Capitalが有するWeb3領域の知見を組み合わせることで、AIEージェント時代における新たなデータ流通の仕組みの構築を目指してまいります。



3. 今後の展開

Nonagon Linkは、現在、Ethereumネットワーク及びSolanaネットワーク上のUSDCに対応しております。今後は、米Coinbase社が開発したブロックチェーン「Base」上のUSDCへの対応を検討するほか、国内で開発が進む独自ブロックチェーンや日本円建てステーブルコインへの対応も視野に入れております。

また、現在のベータ版はサービス提供範囲を国内に限定しておりますが、必要な機能の実装及び運用体制の整備を進めたうえで、一般公開を予定しております。将来的には、英語表記のグローバル版の提供も計画しております。

当社グループは、Nonagon Linkを通じて、企業等が保有するデータやコンテンツをAIEエージェントが適切に利用し、その利用に応じた対価が発生する新たなデータ流通の仕組みの構築を目指してまいります。また、当社が有する大学・研究機関等とのネットワークも活用し、研究データの探索・取得におけるAIEエージェント活用の実証実験等を検討してまいります。

4. 業績への影響

本件による当社連結業績への影響は現時点では軽微であります。今後、公表すべき事項が生じた場合には、速やかにお知らせいたします。

5. 将来見通しに関する注意事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が本資料発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の結果は、今後の市場環境、技術動向、規制環境その他さまざまな要因により、記載内容と異なる可能性があります。